

受精卵移植による黒毛和牛が誕生しました。

平成 28 年 3 月 2 日(木)の早朝、黒毛和種繁殖雌牛が分娩をしました。分娩したのは、昨年 11 月に栃木県畜産酪農研究センター芳賀分場から導入した牛「めぐみ」です。

産まれた子牛は、30kg の元気な雌でした。この子牛は、受精卵移植で産まれた子牛のため、登録上の父母牛は「美津照重×よしのゆめ」です。

受精卵移植により黒毛和牛が生産されると、親子判定をするため遺伝子型の検査を行うこととなります。

子牛は、遺伝子型検査を行うために毛根または鼻汁を採取したり、黒毛和牛として登記するために鼻紋（人の指紋のようなもの）をとるなど、子牛登記をするための手続きが必要となります。学生は、農場実習の中でその方法を学んでいきます。

当校では、今後も関係機関の協力を得ながら、受精卵移植に取り組んでいこうと考えています。



生まれたばかりの子牛